

# 検査協力の周知徹底を

## 行政臨場の事態が発生し

遊技産業健全化推進機構は11月18日、「機構が実施する『立入検査』への協力について」と題する文書をホール関係5団体（全日遊連、日遊協、同友会、余暇進、PCSA）に発し、ホール責任者と従業員に対して立入検査協力の周知徹底を要請した。これを受けて日遊協は同日、会員ホールに同様趣旨の要請を行った。

機構によると、機構の検査員3人が11月14日、ある営業所へ立入検査のため入店したところ、営業所の責任者が長時間にわたって自己主張を繰り返して検査開始を妨害し、同責任者を説得するために警察署の警官に臨場要請する異例の事態となった。営業所を経営する法人代表も同責任者を説得し、結局、立入検査は受け入れられた。機構はこの事案について、最終的に検査を受け入れていること、法人代表者が責任者を説得するなど、どの対応措置をとっていることな

どから、立入拒否事案として取り扱わないこととした。しかし、「業界全体の総意で開始された当該機構の立入検査活動に対して、行政当局の力添えなしには不可能であつたことは、業界全体で猛省すべきであろうと考える」と強く指摘し、二度とこのようなことが起きないように、5団体の会員、組合員に機構の検査活動への協力を周知徹底するよう要請した。

過去、立入拒否事例は1件で、昨年11月7日、秋田県内の営業所で発生している。

### 健全化推進機構

## 社員負担額を可決

### 上半期検査は1082店

一般社団法人遊技産業健全化推進機構（河上和雄代表理事）は11月11日、東京・飯田橋のホテルメトロポリタンエドモントで臨時社員総会を開いた。

機構に対する社員の本年度経費

負担額が満場一致で可決された。14団体の負担総額は4億2428万8695円。このうち日遊協の負担分は366万1660円となっている。

機構検査部が今年度上半期（4月1日～9月30日）、全国47都道府県で行った立入検査の実績が報告された。

店舗数は、遊技機検査900店舗、計数機検査182店舗、計1

### ゴト対策4団体会議

## ゴト事例細かく分析

## 写真資料でも対策検討

ゴト対策に関する4団体会議は

11月27日、東京・市ヶ谷の遊技会館で開かれ、全日遊連、日遊協、日工組、日電協の4団体のほか全商協、回胴遊商、電遊協のオブザーバーら50人が出席した。

日工組と全日遊連からパチンコのゴト事例について、タイヨーエレクトク(株)、(株)ニューギン、(株)三洋物産など各社の機種に対する磁石による玉掛かりゴトが数多く報告された。同じローゴトで釘曲げや台叩きについてもリポートされた。玉掛かりについては特に対策の検

082店舗だった。遊技機台数はパチンコ機6297台、回胴式6885台、合計1万3182台。計数機台数は玉156台、メダル111台、計267台。検査の結果、異常が確認され通報に至った事例も発生している。

なお、計数機検査は、異常の確認はゼロではなかったが以前に比べると少なく、非常に良い状況になったと評価されていた。

討・質疑が行われた。

パチスロではサミー(株)の攻殻機動隊への集中的なゴト、(株)北電子のアイムジャグラーに対するクレジット上げゴトについて、嚴重な注意が必要であると協議された。それぞれの対策部品については、各メーカーの進捗状況が報告され、話し合われた。特に「バイオハザード52」「デビルメイクライ」「ジャグラーシリーズ」「マクロスフロンティア」については写真資料が提供され、細かく分析を行った。



遊技機リサイクル推進委員会

新規1社で選定40社に

昨年度リサイクル量を報告

第67回遊技機リサイクル推進委員会（座長・篠原弘志日遊協専務理事）が11月25日、日工組会議室で開かれた。新たなリサイクル選定業者として、(株)ソイエンス(名古屋市)を実査の結果「適」と判定した。これで選定業者は40社となった。

平成24年度(24年4月1日～25年3月31日)の各団体の使用済み遊技機リサイクル量が次のようにまとまった。▼日工組⇨パチンコ3万5136トン、回胴式3006トン、計3万8142トン▼日電協⇨回胴式8158トン▼全商協⇨パチンコ7102トン、回胴式1739トン、計8841トン▼回胴遊商⇨パチンコ72トン、回胴式1233トン、計1305トン▼全日遊連(直接処理業者に依頼した台で、1万1290店舗に対する回答率67・4%の実数)⇨パチンコ1万5849トン、回胴式8821トン、計2万4670トン。

11月1日に施行された、遊技機リサイクル業者選定の関係規程集(業者選定要綱、業者の選定基準、業者選定審査手続き申し合わせ、リサイクル推進委員会の設置及び運営要綱)の改正版が提出された。

改正の要点は、リサイクル推進委員会の設置及び運営要綱で「廃棄物の設置及び運送」を「使用済み遊技機」と変更したほか、申請時の必要書類の整備、更新に関する確認書類の整備、重要事項に変更があった場合の届け出の義務付け、選定の際のより細かな基準づくりなどとなっている。さる9月の委員会で改正が承認されていた。

「第二保通協」を削除  
公安委員会、指定試験機関から

11月1日付官報(号外第237号)は、国家公安委員会が「風営法第20条第5項に規定する指定試験機関を指定する規則」の一部を改正し、指定試験機関に指定されてい

た一般社団法人遊技機試験機構(名古屋市長区、通称・第二保通協)を削除したことを公布した。これにより、遊技機の型式試験を行う指定試験機関は、一般財団法人保安通信協会(保通協)だけに戻った。遊技機試験機構はさる2月4日付官報に指定試験機関として公布され、第2保通協として話題になった。

RSNが上半期相談発表  
昨年比で倍増の1741件  
遊技団体の啓蒙活動などで

パチンコ依存の相談機関のリカバリサポート・ネットワーク(RSN 西村直之代表理事)は10月24日、2013年度上半期(4～9月)の相談件数を発表した。遊技関係団体の啓蒙活動やRSNの広報活動などにより相談件数は飛躍的に伸び、上半期は1741件となり昨年の同時期(812件)より929件と倍増した。2012年9月以降、月2000件を超える状況が続いている。通話回数は初回1446件の83%、複数回が114件の7%、間違い・無言・問い合わせなどが81件(10%)となっている。

店長・管理職能力開発講習・試験  
東京で1、3月に4回  
名古屋では2月に1回

日遊協は、2014年1～3月に東京、名古屋で計5回行われる店長・管理職能力開発講習・試験の受講・受験希望者を募集している。日遊協会員以外の企業からの受講・受験も歓迎する。会場によっては人事担当者等オブザーバーの傍聴も許可されている。申し込み受け付け中の日程・会場は下記の通り

- 1月23日(木)、24日(金) いずれも東京・日遊協本部会議室
- 2月26日(水) 名古屋・栄メンバーズオフィスビル
- 3月3日(月)、4日(火) いずれも東京・日遊協本部会議室

午前10時開始、午後5時半終了。受講・受験料は日遊協会員1万7200円、会員以外2万2450円。希望者は申込用紙に記入して日遊協事務局に申し込む。申込用紙は日遊協ホームページ、または「講習」チラシのFAX申込書で取り寄せられる。定員に達すると締め切る。



東京都・関東支部セキュリティ対策部会

実務者32人で初会合 現場レベルの対応を重視

東京都・関東支部セキュリティ対策部会の初会合が11月20日、本部会議室で開かれ、ホールを中心にメーカー、販社など支部会員企業の実務者32人が参加した。日遊協支部のセキュリティ関係部会としては、中部、近畿両支部に続いて3番目の発足となる。

西村拓郎支部長は「7団体で構成するセキュリティ対策委員会があるが、それとは別に、現場レベルでの防犯やセキュリティ全般、クレーマー対策が必要なので、この部会を立ち上げた」と述べた。



東京都・関東支部セキュリティ対策部会で挨拶する西村支部長

現場レベルの対応を重視

(株)スタッフ・コーポレーションのスタッフが、「セキュリティ対策の現状について」と題し、動画を使って最近のゴト事例と対策を講義した。松尾利光支部事務所長が、店内で犯罪が発生したときの110番通報のイロハを改めて講義した。実例を出し合って検討した後、今後も今回集まったメンバーで話し合っていくことを申し合わせた。

九州支部「会員勉強会」

47名参加で活発に

庄司会長、篠原専務が講演

九州支部は11月14日、支部会員相互が情報を共有し、組織の充実と拡大を図るために、福岡県遊技会館で「会員勉強会」を開いた。本年度第1回目の勉強会に樋口益次郎支部長以下、役員、会員47人が参加した。

庄司孝輝会長が「遊技産業活性化プロジェクト」と題して、社会と遊技産業の現状、現状認識して取り組む3つの柱について講演し、篠原弘志専務理事は「風営法上の

当面の諸問題」について、消費税、風営法、カジノ関係を取り上げて講演した。

参加した会員たちは熱心に聞き入り、メモを取るなどして「身近な問題を生で聞けて勉強になった」と感想を述べ、質疑も予定時間を超えて活発に行われた。

「勉強会」に先立ち「執行部会」が開かれ、平成26年総会を4月10日にランドハイアット福岡で開催し、(有)香取の香取貴信代表に講演を依頼することなどを決めた。

中国・四国支部役員会

会員拡大などを協議

九州・山田副会長を招いて

中国・四国支部は10月30日、ホテルセンチュリー21広島で役員会を開き、後藤信行支部長以下14人が出席し、報告と当面の課題を協議した。今回は、九州支部から山田久雄元支部長(副会長)、北島俊和事務所長を招請し、九州支部の活動状況について報告を受け、支部活性化や会員拡大について意見交換した。

会員数は落ち込んだままの状況が続いているが、会員になるメリットなど難しい課題を抱えており、現段階では抜本的な施策より地道

な獲得活動に専念すべきとの声が多かった。依存の問題は、社会性を持った主要な問題であり、特に車内放置事件は業界の責任として一件たりとも出してはいけないと確認された。

社会貢献としての清掃活動などは、県遊協など他団体との協力が大切で、九州支部の経験を学んでいくこととした。

中部支部

クレマンゴトなど検討

愛知県ゴト情報対策協議会

愛知県ゴト情報対策協議会が11月7日、名古屋市・愛知県遊協役員室で開かれ、日遊協からは山口悟支部長、内ヶ島隆寛セキュリティ対策部会長以下5名が参加し、愛遊協から6名、オブザーバーとして岐阜県遊協と三重県遊協から3名が参加した。

パチンコでは玉掛かりなどローテクゴト、パチスロではクレマン、電磁波ゴトが報告された。

警察人事

兵庫県警人事(9月18日) 生活安全部 参事官兼生活安全企画課長(参事官兼 県民広報課長) 福本明彦▽退職(参事官兼生安全企画課長 三浦彰弘



## 「パチンコ文化史 南栄二」 都遊協が1冊にして発行

本誌の「パチンコ文化史」で昨年10月号から今年4月号まで6回連載（1月号を除く）された東京都遊技業協同組合常任相談役、南栄二氏の暴力団との闘いの足跡が、「パチンコ文化史 南栄二」として1冊にまとまり、このほど都遊協から発行された。A4判44ページ。

部数に多少の余裕があり、組合外の希望者にも先着順で配付可能としている。問い合わせは都遊協総務課（TEL03・3260・7382、担当・鈴木総務課長）まで。

## メダル工業云総会 設備投資落ち込む

遊技場メダル自動補給装置工業会（メダル工業会）は11月22日、東京・新橋の第一ホテル東京で通常総会を開き、第24期（12年10月～13年9月）の事業報告・決算、第25期（13年10月～14年9月）の事業計画・予算を承認した。

24期はパチスロ機設置店舗・台数が増加したが、周辺機器への設備投資が芳しくなく、粗利で前期比マイナス16・5%だった。25期は消費税増税前の駆け込み需要は考えられるが、増税後の落ち込みを考慮すると、前期比マイナス20%を見込んでいる。

## 会員消息・新規入会

11月21日の第4回定例理事会で新規入会申請のあった4社（正会員1社、賛助会員3社）が入会を承認された。

### ●新規入会正会員

#### ▼株式会社アクト

代表取締役・北川大樹  
東京都渋谷区恵比寿1・26・14  
ACTビル5階

ホール。2002年設立。資本金1000万円。役員3名、社員30人。アルバイト100人。都遊協に加盟。（推薦人・榎オムコ 大村年史）

### ●新規入会賛助会員

#### ▼有限会社新栄会館(特)

代表取締役・山野英雄

宮城県大崎市鹿島台広長字内ノ浦90  
ホール。1987年設立。資本金300万円。役員2人。従業員16人。宮城県遊協に加盟。（推薦人・(株)ニラク 谷口久徳）

#### ▼株式会社ジヨブマネジメント

代表取締役・森谷雅人

東京都渋谷区渋谷1・10・2  
志水ビル3階

研修及びセミナー企画運営等。2013年設立。資本金5000万円。役員4人、社員2人。（推薦人・専務理事 篠原弘志）

#### ▼ブルーエクスプレスサービス株式会社

代表取締役社長・下田善助

沖縄県那覇市港町3・2・28  
海上運送業、貨物運送事業、倉庫業。1996年設立。資本金1500万円。社員17人、アルバイト2人。（推薦人・三玉商事(株) 樋口益次郎）

### ●住所変更

#### ▼愛知県遊技機材料協同組合

愛知県春日井市宮町中島22  
株式会社日東内

TEL/FAX0568・66・3098

●9月1日

### ●代表者変更

▼株式会社SNKプレイモア

代表取締役社長・外山公一

10月28日

#### ▼株式会社名古屋商事

代表取締役・神保重孝

10月31日

### ●本社移転

#### ▼株式会社サミーデザイン

東京都豊島区東池袋2・23・2

UBG東池袋ビル3階

11月18日

### ●営業所移転

#### ▼サミー株式会社 神戸営業所

神戸市中央区御幸通4・1・1  
キリン神戸ビル5階

TEL078・2911・5285  
FAX078・2911・5288

11月25日

# DATA SPOT

## 店舗大幅減続き、パチスロ機も下降線か

全日遊連は11月20日、店舗数、遊技機台数の2013年10月分を発表した。店舗数は前月比で30店減となり2か月連続で30店舗以上の減となった。1万964の店舗数は、年間ペースだと昨年10月（1万1167店）と比べて、この1年間で203店舗マイナスで、低下傾向が加速している。

遊技機では、パチンコが1年間でマイナス4万5143台（昨年10月279万8701台）と下がり続けている。一方パチスロ機はプラス5万5231台（昨年10月141万2852台）と相変わらず前年比増を保っている。前月比では2586台減となり、29か月続いていた前月比増が前月途切れたが、下降線に入った恐れがある。<注>店舗数、及び遊技機台数は各月の末日現在の数。表中の「その他」はアレンジボール、じゃん球、スマートボールを意味する。

## 貯玉補償基金加盟状況

	店舗数	前月比
北海道	243	0
東北	538	+1
東京	585	+2
関東	1622	0
中部	506	+3
近畿	898	+5
中国	291	+2
四国	155	0
九州	623	0
全国計	5461	+13

(2013年10月31日現在)

## 全日遊連加盟店舗数・遊技機台数

平成24年	営業店舗数	新規店舗数	廃業店舗数	休業店舗数 (当月発生分)	遊技機台数			総台数
					ぱちんこ遊技機	回胴式遊技機	※その他	
1月	11,171	17	34	118 (11)	2,805,774	1,441,076	156	4,247,006
2月	11,137	7	37	119 (11)	2,798,348	1,441,295	156	4,239,799
3月	11,089	8	52	125 (20)	2,786,704	1,444,068	156	4,230,928
4月	11,093	37	41	113 (12)	2,789,874	1,454,733	156	4,244,763
5月	11,069	13	30	116 (18)	2,780,418	1,459,448	156	4,240,022
6月	11,040	20	43	123 (23)	2,773,587	1,459,781	156	4,233,524
7月	11,042	18	19	115 (10)	2,773,309	1,466,536	156	4,240,001
8月	11,033	17	35	107 (7)	2,771,022	1,471,142	156	4,242,320
9月	10,994	6	43	110 (12)	2,762,085	1,470,669	156	4,232,910
10月	10,964	8	38	105 (11)	2,753,558	1,468,083	156	4,221,797